

登録コード	E4663900	開講年度	2026				
授業科目	中等保健科指導法演習					担当教員	友川 幸
英文授業名	Seminar on health education teaching					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・1時限	対象学生	
講義室	教育E201		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	26Eカリ，25Eカリ，24Eカリ，23Eカリ，22Eカリ，21Eカリ，20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	保健体育教育の実践において求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を基盤として、学校教育における保健（健康）教育の位置づけと役割，保健（健康）教育のカリキュラムおよび教材開発のための基礎的知識および理論について，教育現場での実践例を交えながら説明できるようになる。また，小，中，高等学校の異なる教育段階における保健教育のねらいと方法の違いを理解し，説明できるようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	教育活動を支え、実現するうえで不可欠な専門的知識・技能として、保健(健康)教育の学習指導案を作成し，保健（健康）教育に関する基礎理論と評価・学習指導案の作成方法を知り，学習指導案が作成できるようになる（映像資料やICT等を活用した教材作成ができるようになることを含む）。	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	学校教育における保健（健康）教育の位置づけと役割，保健（健康）教育のカリキュラムおよび教材開発のための基礎的知識および理論について，教育現場での実践例を交えながら解説する。グループ学習を通して，小，中，高等学校の異なる教育段階における保健教育のねらいと方法の違いを理解し，説明できるようにする。実際に，保健(健康)教育の学習指導案を作成し，模擬授業を行うことで，保健（健康）教育に関する基礎理論と評価・学習指導案の作成方法を知り，学習指導案が作成できるようになる。また，映像資料やICT等を活用した教材作成ができるようになる。						
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス（講義予定と授業評価について），グループ分け，テーマ・担当決め，保健科教育に関する小テスト，学校教育における保健（健康）教育の位置づけと役割 第 2 回：小学校の学習指導要領の分析/小学校での保健教育の内容分析 中学校の学習指導要領の分析/中学校での保健教育の内容分析 第 3 回：高等学校の学習指導要領の分析/高等学校での保健教育の内容分析/ 他の教科の学習指導要領・教科書における保健に関する教育内容の分析 第 4 回：保健（健康）教育のカリキュラム・教材開発のための基礎知識と理論 第 5 回：学習指導案の作成方法(映像資料やICT等を活用した教材作成の重要性を含む) 第 6 回：模擬授業の学習指導案の作成1(テーマ1とテーマ2に関して) 第 7 回：模擬授業の実施(1) テーマ1とテーマ2 第 8 回：模擬授業（1）に関するリフレクション 第 9 回：模擬授業の学習指導案の作成2(テーマ3とテーマ4に関して) 第10回：模擬授業の実施(2) テーマ3とテーマ4 第11回：模擬授業（2）に関するリフレクション 第12回：模擬授業の学習指導案の作成3(テーマ5とテーマ6に関して) 第13回：模擬授業の実施(3) テーマ5とテーマ6 第14回：模擬授業（3）に関するリフレクション 定期試験 保健科教育に関する小テスト，学習指導案の提出と授業のまとめ、授業アンケート回答						
(6)成績評価の方法	保健科教育に関する小テスト 15点 授業内容の理解及び自己学習状況を評価するためのノート 15点 演習課題（学習指導要領及び教育内容の分析）20点 作成された保健科教育の指導案及び教材への評価 30点 模擬授業の実施における関心・意欲・態度，思考・判断，知識・理解，に関わる評価 20点 上記をもとに総合的に評価する。						
(7)成績評価の基準	・教材研究や自己学習に関わるノートの場合 (i)授業に関わる資料（教材）がノートに記載もしくは貼りつけられている，(ii)授業に関わる内容について自己学習がなされている，(iii)授業に関する自分の考えや学びが記載されている，(iv)授業内で出された小課題に関する回答が記述されている，（V）自己学習された内容に関して批判的考察がされている。（i）から（v）の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目できていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」と評価する。 ・学習指導要領及び教育内容の分析 指導要領及び教科書等の記述の分析が的確にされていれば「水準にある」，記述内容の分析に加えて，子ども達を取り巻く健康及び環境課題について問題意識を持ち，自らの視点で分析が具体的に説明されていれば「やや上にある」，問題意識を持ったうえで，自らの思考が論理的かつ批判的に述べられていれば「かなり上にある」，問題意識を持ったうえで，幅広い観点に基づき論理的かつ批判的な説明がなされていれば「卓越している」と評価する。 ・指導案および教材の開発の場合						

(7)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切である, (ii) 対象の興味や関心をひく内容になっている, (iii) 教材研究が十分になされている, (iv) 学習すべき内容が適切に含まれている, (v) 目的に沿った内容や教材, 評価の観点が選ばれている。(i) から (v) の5項目を満たしていれば「卓越している」, 4項目までできていれば, 「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」。2項目までできていれば「水準にある」と評価する。 ・模擬授業の実施の場合 (i) 指導案に沿った内容となっている, (ii) 事前の準備が十分に出来ている, (iii) グループメンバーと協力して興味関心を持ち意欲的に実施している, (iv) 時間管理が適切になされている, (v) 適切な指導が行われている。(i) から (v) の5項目を満たしていれば「卓越している」, 4項目までできていれば, 「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」。2項目までできていれば「水準にある」と評価する。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。
(8)事前事後学習の内容	eALPS上に次週の授業内容を掲載するので, ダウンロードでして予習しておくこと。教材研究については, B5サイズのノートを用意し学習した事項をまとめるとともに, 自宅学習の成果を記録すること。自宅学習では, 専門書, 新聞, ニュース, インターネットなどを用いて, 授業で扱った内容や健康や安全, 環境に関する情報や時事問題, 保健科教育の指導法等について学習すること。また, 決められた期限までに必ず, 学習指導案を作成し, 指定された方法で提出すること。授業内で十分に理解できなかった事項は, 授業内で紹介する書籍などを用いて, 自宅学習などを行い, 補完・理解するように努めること。この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って, 60時間以上の時間外学習が必要となります。
(9)履修上の注意	模擬授業時に使用する資料に関しては, インターネットの情報のコピーや出所の不明瞭な情報を使用しないこと。授業への欠席, 遅刻, 授業に関係ない作業(授業中の飲食, ガムを噛むこと, 他の授業のテスト勉強や提出物の作成, 携帯電話の使用)および私語を禁止する。この科目の履修前に, 学校保健基礎, 衛生学・公衆衛生基礎を履修しておくこと。授業内で出される課題(模擬授業に関するリフレクションコメントなど)を期限までに指定された方法で提出すること。グループでの演習活動を行うため, 遅刻及び欠席は厳禁。
(10)質問, 相談への対応及び連絡先	授業に関する質問は, 基本的に授業内で確認するようにし, 授業内で解決できなかった質問については, sachitjp@shinshu-u.ac.jpにメールで質問すること。オフィスアワーは, 毎週火曜日の12時20分~12時50分の間であり, E309室にて対応する。相談事項等がある場合は, 必ず事前にメールで連絡すること。
【教科書】	小学校学習指導要領体育編 文部省(平成29年) 124円 中学校学習指導要領保健体育編 文部省(平成29年) 386円 高等学校学習指導要領保健体育編 文部省(平成29年) 478円
【参考文献】	適宜資料を配布